

日本テレビ通り沿道まちづくり協議会（第8回） 会議録要旨

■日 時：令和3年3月30日（火）15:00～17:00

■場 所：麴町出張所・区民館 B1F 洋室 AB

■出席者：日本テレビ通り沿道まちづくり協議会

委員 19名（うち1名リモート参加、一部代理あり） 欠席 9名

二番町町会：2名

四番町町会：2名

五番町町会：1名

六番町町会：2名

麴町三丁目町会：1名

麴町四丁目町会：1名

九段四丁目町会：1名

番町の町並みを守る会：2名

学校法人グロービス経営大学院大学：1名

学校法人女子学院 女子学院中学校・高等学校：1名

日本テレビ放送網株式会社：2名

東京急行電鉄株式会社：1名

学識経験者：東京都市大学都市生活学部 明石 達生教授

千代田区環境まちづくり部：加島 津世志まちづくり担当部長

（事務局）

千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課

■傍聴者：約70名

■議 事：

- （1）要綱の改定及び座長・副座長の選任、運営ルールについて
- （2）これまでの日本テレビ通り沿道まちづくり協議会のふりかえり 他
- （3）意見交換

■配布資料

- ・次第
- ・席次表【非公開】
- ・設置要綱（案）
- ・委員名簿【非公開】
- ・資料１：日本テレビ通り沿道まちづくり協議会の運営について（案）
- ・資料２：これまでの経緯の概要
- ・資料３：これまでにあげられたご意見の整理
- ・参考資料１：日本テレビ沿道まちづくり協議会等で出された主要なご意見
- ・参考資料２：千代田都市づくり白書 データ・資料編（抜粋）
- ・参考資料３：日本テレビ通り沿道まちづくり基本構想（素案）（抜粋）

■意見交換等

（１）要綱の改定及び座長・副座長の選任、運営ルールについて

【事務局（千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課）より設置要綱（案）を説明】

【質問なし・反対意見なし】

◇設置要綱（案）が承認された。

～座長の選任～

・「日本テレビ通り沿道まちづくり協議会設置要綱」では、座長は委員の互選により選任することとなっているが、事務局より、学識経験者としての豊富な知見を有する●●委員にお願いすることが提案された。

【異議なし】

・事務局提案の通り、座長として●●委員が選任された。

～座長からの挨拶～

・区から依頼があった時には、協議会に対立している点があることは既に承知していて、正直に申し上げると微妙な役目だと思った。しかし、自分自身、元々公務員であったときに大学の先生に助けてもらう場面が何度かあった。こういったことから逃げるのはよくないということで、今日ここに座らせていただいている。色々と思うが、よろしくお願いします。

～副座長の選任～

・事務局より、前回までに引き続き、副座長は●●町町会長●●委員にお願いすることが提案されたが、辞退し、現在●●出張所地区連合町会長である、●●町町会長●●委員に依頼したい意向が示された。

【異議なし】

・●●町町会長●●委員提案の通り、副座長として●●町町会長●●委員が選任された。

【事務局（千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課）より資料１を説明】

・協議会の運営ルール（案）について承認された。

(2) これまでの日本テレビ通り沿道まちづくり協議会のふりかえり 他

【事務局（千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課）より資料２・３、参考資料２を説明】

（座長）

◇今日の会議の到達点を確認したい。

（事務局）

◇協議会を開くことができていなかった２年間の状況も踏まえて、委員の意見を再確認することが目的。その後、住民や区へ在勤・在学されている方についても意見を広く募って再確認することを考えている。

（座長）

◇今日の会議では忌憚のない意見をいただくことを重要視しており、無理にまとめることはないということで理解した。

(3) 意見交換

（座長）

◇事務局に対する質問が３つある。１つ目は、人口が増加している中で、行政として課題と考えていることは見えているのか。２つ目は、番町地域を歩いていると、子供が増えたと感じる。番町地域は大半が住宅地である一方で、一般的な公共空地が少ないと思うが、住民からの要望はあるのか。都心の一等地なので公園はいらないという意見もあると思うが、子供にとってはどうなのかが気になった。次に防災について。先ほど旧耐震のマンションが多いという話があったが、マンションは旧耐震でも一定の耐震性があると思う。建て替えをすると出費がかかり、住民の意向をまとめるのが難しいので、きちんと使っていくことが基本になると思う。番町地域で耐震診断をしているマンションの割合などはわかるか。また、停電が起きると、マンションはエレベータや水が止まる。東日本大震災の際に千代田区は計画停電にならなかったと思うが、何か想定していることはあるか。

◇町会にも質問したい。番町地域は人口が増えていると先ほど説明があったが、その一方で基本構想素案には町会の存続が危ぶまれていると書かれている。番町チャンネルという地域の方が運営しているYouTubeを拝見して、住民活動がそれなりにある印象を受けた。それを町会が受け止められていないのではと感じたが、どう思われるか。

（事務局）

◇人口に関するご質問についてお答えする。先ほどの資料では、人口の推移について２０年の変化を示したが、それ以前、例えば昭和４５年頃の番町地域の人口は２万人を超えており、そのころの人口に戻ったという見方もできる。ただ一旦人口が減ったので、小学校の統廃合が行われたほか、生活利便施設の減少などがあった。子育て関係の施設が不足している可能性もある。公園については、区議会より、番町地域だけでなく区全体として子供の遊び場が少ないという意見をいただいている。公園については、データからも番町地域の数が少ないことが分かる。世論調査でも児童向け施設の少なさが指摘されている。次に災害に関する質問について、千代田区耐震改修促進計画の中で、耐震化されているマンションが多いことは数値として分かっているが、番町だけでなく区全体の数値のみとなる。番町地域についても、割合としては大よそ同じと思う。また、区の地域防災計画にライフライン関係の被害想定が出ている。マンションについては災害発生からインフラが復旧するまでの期間が重要と思うので、今後検討していく必要があると考えている。

(委員)

◇耐震化されたマンションのデータは住宅の戸数に基づいて算出しているので、棟数を全て把握できているわけではないこと、人口の増加に伴って子供の遊び場づくりを区議会から要望されていることを補足させていただきたい。

(委員)

◇二番町では、麴町駅番町口のバリアフリー化が長年の懸案となっている。日本テレビが再開発する際には、本格的なバリアフリー化をお願いしたい。現在の歩道の幅員は2mで、総合設計を使えば4mになるが、麴町大通りのように日本テレビ通りも8m程度に広げていただきたい。広場についてはゆっくりくつろぐことができ、いざという防災拠点となるようなものができるとうい。No. 4がいずれ無くなるので、その代わりになる広場ができるとよい。平成31年に日本テレビから町会へ再開発についての説明をしていただいた際に、会員から多くの賛同があったので、個人だけの意見ではないことをお伝えしたい。番町地域では18歳までの人口は伸びているが、その後の年代は少なく、高齢者が多い。若年層が増えていることは、区の手厚い支援や良好な住環境が要因ではないか。町会の加入率は減少している。町会内には賃貸マンションも複数あるが、住民の多くは町会に入らない。分譲マンションにも案内はしているが、管理費もあって町会費が削られている印象。また、マンション住民には、あまり地域に関わりたくない、プライバシーに配慮したいという人が多い印象がある。

(委員)

◇バリアフリー化は重要。子供たちが登下校する際に危ないので、道路の拡幅はぜひお願いしたい。日本テレビ通り沿道のまちづくりについての検討が始まって、時間が経っているので早く実現してほしい。

(委員)

◇番町地区は、東京都で有数の閑静な文教・住宅地である。都心でありながら静かで空が見える、安全かつ閑静な住環境を未来の子供達に残したい。日本テレビは現存の地区計画を認識して土地を買い増したわけなので、それに準じた形で開発してほしい。公共の電波を活用する事業者として、地区計画を守りながらバリアフリーを実現されるものと信じている。座長がご指摘の町会の存続については、町会の閉鎖性に大きな問題があると認識している。二番町の掃除を含めて最も多くの貢献をしてきたと自負している会社が理事に立候補しても入れてくれなかった。町会組織の閉塞性は改善する必要があると思う。個人・会社としても町会活動に参加しているが、新たな参加者は理事になることができなかった。

(委員)

◇日本テレビの再開発に伴って、本格的なバリアフリー化をお願いしたい。番町学園通りは保育園や学校が複数あり、児童の行き来があるにもかかわらず、歩道が途中で途切れている。日本テレビ通り沿いだけでなく、周辺の道路環境についても、再開発を好機として改善して欲しい。上智大学がマンションに変わった際に、緑が一気に減った。再開発に伴って、緑が増えると良い。管理組合が管理費から町会費を勝手に出すことは違法であるという判例が出たことから、新築のマンションは当初から町会の参加に及び腰である。大規模なマンションが増えることで、町会員ではない住民が一気に増えており、大きな問題と感じている。

(委員)

◇先ほども話があったように、判例が出たことに便乗して、町会に入らないマンション住民が増えたと感じる。人口が増えても地元に貢献していない状況。住民には区が行うまちづくりにもっと興味

を持ってほしい。今の区報は分かりにくいので、目を引くような紙面にしてほしい。

(委員)

◇町会の役割は、地域のボランティアだと思っている。マンションの建築当初はディベロッパーから町会費を払うと説明されても、管理組合が設立されると約束が反故になっており、付き合いがそれっきりになることが多い。災害対策など大局的な視点で考えると、町会には存在意義があると思う。この協議会では、将来像などの地域にとって大局的なことについてもっと議論をしたほうが良い。

(委員)

◇最終的には、日本テレビ通り沿いに土地を持つ地権者の意向が重要と思う。誰しも自分が持つ土地の権利は主張したいと思うので、それに対して要望するのであれば、何らかの見返りは必要と思う。話が少し変わるが、町会活動で開催するお祭りで提供する飲食物の準備は、町会費でまかなっているが、町会に入っていない人が飲食物を要求してくることがあり、それは正すべきと思う。日本テレビも保有する土地について権利を主張したいと思うが、住民側に足並みを揃えてくれているので、それに対する配慮は必要だと思う。先ほど座長からマンションの耐震性について話があったが、躯体の強度があってもインフラが損傷すれば意味がないと思う。そのことは配慮していないという認識で良いか。

(委員)

◇理容室の3代目であったが、タワーマンションができたときに立退をした。その時にディベロッパーにはバリアフリー化と防災倉庫の設置を依頼した。町会内にはマンションが2棟できる予定で、町会への加入を交渉しているところである。日本テレビの再開発について、町会の会合で話をしたことがあるが、日本テレビ通りから少し離れていることもあってか、特段意見は出なかった。

(委員)

◇麹町四丁目は昔から商人が多いまちである。マンションの建て替えが進んでいるが、駐車場の付置義務があるために、建物の1階に商店を入れることができず、商店会が衰退し町会も衰退したという個別事情がある。現在、町会ではマンション住民の加入は、基本的に個別対応となっている。まちづくり委員会ができる前から、マンション建て替え問題などは顕在化しており、それに伴いバリアフリーや災害時対応の問題などが出てきた。どういうまちを作るかが大事と考える中で、関係する町会が委員会を作って議論してきた。番町地域には歴史や文化が残っていると言われているが、実際に残っているのは江戸時代来の地割りくらいである。新しいものを作っていくことが必要である。

(委員)

◇日本テレビ通り沿道の検討が停まっているならば、先に市ヶ谷駅周辺の検討を進めた方がいいのでは。歩道の拡幅はぜひ進めて欲しい。

(委員)

◇協議会が開催されなければ、二番町の地区計画を変更する可能性があることを知ることはなかったので、意義があったと思う。傍聴者も徐々に増えてよかった。協議会は話し合ってきたことが何らかの形でまとまるまで継続してほしい。この会を見渡すと女性が非常に少ないので、それはどうなのかと感じた。各町会に持ち帰っていただき、少しでも変えていければ、お母さんたちやマンション住民も町会に加入していくのでは。町会はまちの情報を知ることができる場になると良いと思う。バリアフリー化はお願いしたいが、再開発にとってのマストではないと思う。地域には広場が確かに少ないが、超高層の下に広場ができて、子供を遊ばせることはできないと思う。それよりも小さな公園がいくつかあるとよい。歩道の拡幅は広い方がもちろん良いが、マンション住民が増えれ

ばまたキャパシティが変わるので、適度な広さがあればいいのでは。二七通りなどを歩いていると、マンションの前に公開空地と塀が交互にあって歩きにくい。協定などで対処できないのか。この協議会は日本テレビの再開発だけでなく、まちの性質、あり方について広く考えられる場になればと思っている。

(委員)

◇町会のあり方などの話もできたことは有意義であったが、自分からはこの協議会の本来の狭い意味でのテーマについて話したい。日本テレビには具体的な計画を出してもらい、それについて議論ができればと思う。今後のスケジュールなども事務局から展望を話してほしい。日本テレビには町会から出された要望について、正面から受け止めてもらっていると思うが、協議会の初期に再開発によって 150m の建物が 2 棟建つイメージ図が出されたことに対して、地域住民は大きなショックを受けた。制限は意味があって作られているので、まず原則として受け止め、今の制限の中で何ができるかを色々専門家の視点を踏まえて検討してほしい。ぐずぐず検討しているのはあまり良くないので、早期に良い整備が行われることを望んでいる。建物の高さについては、ビル風の影響を受けることを踏まえてほしい。昨今は大規模な台風も多いので、その時の風邪の影響も心配される。番町地域には大きい広場はそれほどいないと思う。避難所については、地域内の学校の校庭が活用できると思う。災害のことを考えると、備蓄等が必要と思うので、再開発に伴って設置をお願いしたい。その他には番町の庭のようなスペースができると良い。

(委員)

◇久しぶりの開催とはいえ、行政側の説明が長い。前回の協議会でもお伝えしたが、一番町の住民も影響を受けるので、できれば協議会のメンバーに入れてほしい。雙葉・大妻・女子学院の連名で都市マスに対する要望書を提出した。再開発により就労人口が増え、地域の風紀に影響を与えることが懸念されるので、反対している。麴町駅のバリアフリーについては、関係者である行政・メトロ・日本テレビ等が中心になって、進めるべき。日本テレビの再開発だけを対象に、日本テレビ通り沿道を再開発促進特区にすることは疑問を持つ。

(座長)

◇番町の庭の土地は日本テレビが所有しているのか。

(委員)

◇日本テレビが所有している。番町の庭は最初から期間限定でオープンしたので、今後どこかで期限を切って閉鎖することになる。番町の庭を運営して、子供連れや主婦の利用者が多いことがわかった。今度再開発を行う中で、番町の庭のようなスペースを恒久的な施設として整備したいと考えている。

(委員)

◇再開発を控えている状況だが、これまで議論されてきた地域の課題について開発を通してサポートできればと考えている。広場の話も出ているが、地域の皆様が利用できる番町の庭のような広場を引き継いでいきたいと考えている。番町地域には緑豊かな環境の整備も必要と考えている。番町地域の魅力を伝えるために立ち上げた YouTube チャンネルを手伝っており、番町の住民が地域の魅力を伝えている中で新しい魅力を取り入れる手伝いもできればと思う。

(委員)

◇閉鎖するのは No. 4 ではなく番町の庭である。再開発によってサードプレイスのようなものを作っていければと考えている。●●委員の発言についていくつか確認させていただきたい。この協議会は日本テレビの再開発だけでなく、日本テレビ通り沿道全体のことを検討する場ではないか。学校

のスペースは、避難所として地域外の人が使用できる場と考えてよいのか。番町の庭では住民が主体で様々なイベントが企画、開催されている。エリアマネジメントのような考え方で、新旧住民の融合に寄与するような施設を作っていければと思う。文化のことについても、ここにすれば何かがあるということがわかるようなものができればと考えている。

(副座長)

◇しばらく期間が空いたが、前回までがぎくしゃくした雰囲気だったので、冷却期間を置いた面もあったと思う。この協議会は日本テレビの再開発を議論する場ではなく、日テレ通りのまちづくりについて話し合う場であって欲しく、物事について議論立てて進められればと考えている。町会活動については、根を張ってやっていきたいと考えている。

(座長)

◇プランとしてまとめていく必要があると思うが、女性の視点が入っていないことや、住民の姿が見えてこないのが課題と思うので、そこは行政に追加してもらいたい。住宅地のことは女性の視点も非常に重要だと思うので、意見を拾って反映できるとよい。

(事務局)

◇リモートで参加の●●委員よりメッセージがあったので、ご紹介する。「協議会の目的は、まちとしての魅力向上と、住宅地域、業務商業用途との調和を目指す、とございます。駅出口含めたバリアフリー化、歩行の為の十分な歩道拡幅と緑の再生、広場空間をつくること（地域貢献）は、行政、建替え・開発、地域の方がたなど関係者の皆様に協力させて頂きながら、経済合理性も含め様々な視点から実現していくべきかと思います。是非昨今の時世含め、まちとしての賑わい（商業的な賑わいに限らず）を持続させていくべく、まちづくり方針の議論が行えればと思います。よろしくお願い致します。」

(事務局)

◇女性も含めて幅広く住民の意見を聞く場を、年度明けの早い段階（5月ごろを予定）に行い、その結果を踏まえて区として考えを取りまとめ、6月くらいに協議会を開いてお示しできればと思っている。

(事務局)

◇区としての方針を出さないと、皆さんも議論がしにくい部分があると思うので、時間をいただいて取りまとめたいと考えている。

(委員)

◇一番町、三番町の方についても会議の中で意見を聞いた方がよい。

(事務局)

◇オープンハウスのような形で、住民の意見を聞くことを予定しており、一番町・三番町も含めた幅広い立場からの声を聞ければと思う。子育て世代や若い世代等については、行政が伺って話を聞くことも考えている。

以 上